

レーザー顕微鏡研究会 第44回講演会・シンポジウム

光学顕微鏡技術における

「ビッグデータ」と「コンピューテーショナル」技術の最前線

2019年7月4日(木)–5日(金)

講演会・シンポジウム：4日10-20時、5日10-17時(予定)

展示会：4日13-20時、5日10-17時(予定)

場所：大阪大学 银杏会館(吹田キャンパス内)

一般講演(口頭・ポスター)発表を募集しています(〆切2019年6月4日)

発表・参加申込方法：ホームページ(<http://www.jslm.sakura.ne.jp/>)からの申込をお願いします。

なお、参加申込は当日でも可能ですが、出来る限り事前申込をお願いします。

レーザー顕微鏡研究会では、光学顕微鏡と関連技術、材料工学から生物学・医学までの幅広い応用に係わる理論家・開発者・ユーザーが学問、分野を超えて集まり、研究者間の情報交流を図ります。シンポジウム、一般講演、企業テクノロジーアップデートを2日間の日程で開催し、光学顕微鏡技術に関する啓蒙と、将来の発展について議論いたします。一般演題の内容は上記に限られず、光学顕微鏡に関連する理論・技術・応用について全般的に募集いたします。ポスター発表、展示、交流会を同一会場で混然と行い、異分野の研究者、開発者、企業関係者の異なる視点から光学顕微鏡技術について議論し、研究の進展、新しいテーマ開拓、製品開発に繋げ、今後の同分野の活性化を図ります。

シンポジウム講演者(講演タイトルは仮題)

7月4日「ビッグデータと顕微鏡」

- ・上村 真生 先生(東京理科大学 基礎工学部)
「波長1000nmを超える近赤外蛍光を用いる in vivo イメージング」
- ・大浪 修一 先生(理化学研究所 QBiC)
「TBA」
- ・豊島 有 先生(東京大学 大学院理学系研究科)
「線虫全脳の機能的イメージングと動態解析」
- ・根本 知己 先生(北海道大学 電子科学研究所)
「生体組織における生理機能の高速多光子イメージング」
- ・橋本 均 先生(大阪大学 大学院薬学研究科)
「高速・高精細全脳イメージングによる脳機能解析」
- ・廣島 通夫 先生(理化学研究所 QBiC)
「全自動イメージングにより実現した網羅的1分子解析」

7月5日「コンピューテーショナル顕微鏡」

- ・椎名 毅 先生(京都大学 大学院医学研究科)
「超音響CTによる先端生体イメージング」
- ・長原 一 先生(大阪大学 IDS)
「コンピューテーショナルフォトグラフィ」
- ・Nicholas Smith 先生(大阪大学 IReC)
「Mapping cell states by quantitative morphological and molecular features」
- ・三上 秀治 先生(東京大学 大学院理学系研究科)
「情報通信技術を応用した超高速共焦点蛍光顕微鏡」
- ・矢代 航 先生(東北大学 多元物質科学研究所)
「圧縮センシングによるミリ秒X線トモグラフィの開発と将来展望」
- ・渡邊 恵理子 先生(電気通信大学 大学院情報理工学研究科)
「平面導波路型デジタルホログラフィック顕微鏡と展開」

交流会参加企業(5月15日現在、展示申し込み順)

ライカ マイクロシステムズ株式会社、株式会社オプトライン、スペクトラ・フィジックス株式会社、テレダイン・ジャパン株式会社、株式会社ニコン、株式会社日本レーザー、オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社 アンドール・テクノロジー事業部、株式会社ティ・ディ・シー、株式会社ナノシード、横河電機株式会社、浜松ホトニクス株式会社、クロマテクノロジージャパン合同会社、ウエイブフロント有限会社、オリンパス株式会社、ソーラボジャパン株式会社

研究会ホームページ：
<http://www.jslm.sakura.ne.jp/>

事務局 E-mail：
jslm-office@jslm.sakura.ne.jp

賛助会員(五十音順)：

WAVEFRONT

OLYMPUS

ZEISS

ケイエルファイ株式会社

THORLABS

© Spectra-Physics

Nikon

Nippon Roper
Princeton
Instruments

YOKOGAWA

Leica
MICROSYSTEMS